

ポートランド日本人学校だより

# わかば

2017. 9. 2

第17-18号

ホームページ <http://www.shokookai.org/gakkou.htm> 毎週火曜日更新

## 個人面談実施！



前期の学校での様子や学習結果を伝えるために、人数の多い一部の学級では9月9日から、その他の学級では9月16日から個人面談を実施します。バザーと重なり混雑等でご迷惑をおかけしますが、ご理解をお願い致します。

個人面談の目的は、保護者と担任、家庭と学校が子どもの健全な成長を願い、話し合うことです。保護者と担任との信頼感、親近感を培い、相互理解を深めると共に、一人ひとりの児童生徒をよく理解し、同一歩調で接することができるようにする場でもあります。保護者にとって、児童生徒の学校での様子はわかりませんし、担任も児童生徒の日本人学校以外の場での様子は、知ることはできません。お互い情報を交換し、今後に向けて建設的な話し合いを持つことが大切です。

個人面談が終わりましたら、通知表を10月7日に子ども達に配布します。ご家庭に戻られましたら、お子さんと一緒に通知表を見て、その時に個人面談での内容を思い出してほしいと思います。先ず最初に、頑張った事についてしっかりと認め、褒めてあげてください。次に、努力を要することについて具体的な問題点を示し、解決策と一緒に考えていただきたいと思います。日本人学校では、本人の自覚と家族のサポートが一緒にならないと、なかなか十分な成果は得られません。本人の気持ちを大切に励ましをお願い致します。

なお個人面談の実施にともないまして幼稚部の9月9日から10月7日までのお迎えの時刻が14:00に変更となりますので、よろしく願いいたします。小学部1年生から高等部3年生までは、変更はありません。

## 小学部 後期用教科書配布

本日、小学部の児童に後期用教科書を配布しました。国語・算数以外の教科書については自分で学ぶ教材として活用してください。教科書に掲載されている事項・用語に一通りふれておくことは、帰国後の学校への適応にも大変に役に立ちます。また、ご家庭での音読の教材として利用することもよいと思います。



## 児童生徒の作品

気になる記号

3年1組

桑原 優奈

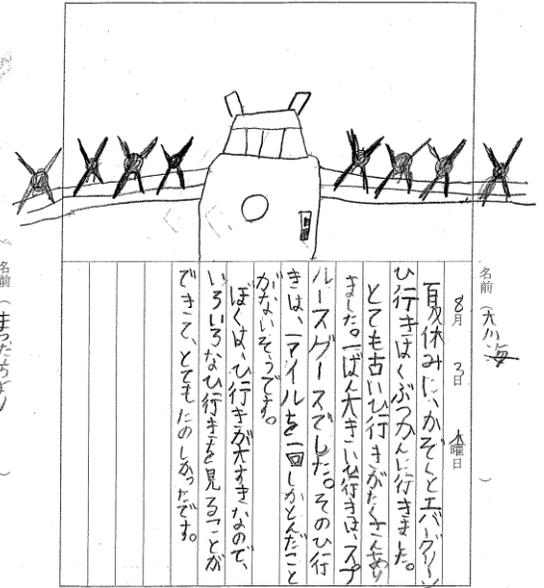
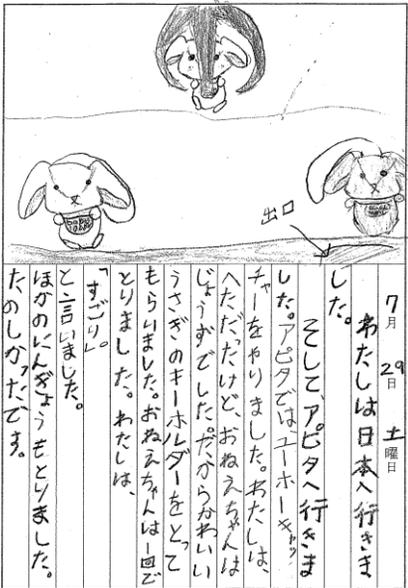
私の調べた記号は、消しゴムについている「紙マーク」という記号です。この「紙マーク」が何を伝えるやくわりをしているのか、どことなくふうをしているのか調べました。

調べ方は、お母さんに聞いたり、インターネットで調べました。

調べて分かったことは、パッケージに「紙マーク」がついているかチェックすることで、紙しげんとして分べつすることがかんたんにでき、回収された紙しげんはさいせいされて、紙やトイレトペーパーなどに生まれかわるということです。

紙のゴミだけでも24しゅるいに分べつされ、リサイクル方ほうもちがいます。紙マークをみんなも覚えて、しっかり紙しげんをリサイクルできるようにしてほしいです。





### リサイクル

### 3年1組

### 柴田 寿人

アメリカには、たくさんの記号があります。ぼくは、その記号がなにをしめしているのか調べました。

ぼくが、リサイクルでわかったことは、リサイクルのはこは、紙を中にすてることをしめしていることです。リサイクルの形は、三角形をしています。リサイクルできる物のしゅるいは、紙やプラスチックがあります。この記号は、一度使用した物を再利用するというを表しています。

わかったことは、この記号が表すように、しげんをむだなく再利用できるのがリサイクルです。ぼくは、物はむだにしないということを、記号がしめしていると思いました。



### 「生物が記録する科学」を読んで

### 中学部 2年1組

### 久保 日菜梨

バイオロギングという言葉の意味を知ったのは、国語の授業がきっかけだ。生物が記録する、今まで不可能だと考えられていた事が可能になりすごいと思った。

南極に生息するエンペラーペンギン。筆者はバイオロギングを用いて、彼らの潜水行動の調査をした。その中で筆者は新たな疑問を見つける。エンペラーペンギンは五百六十四メートル以上潜れるのに、なぜ深く潜らないんだろう。この疑問は、彼らの潜水行動をより知るきっかけとなる。エンペラーペンギンは効率良く餌捕りをするため、短い潜水を数多く繰り返していた。私は、人間のようによく考えて行動していると知り、とてもびっくりした。

アデリーペンギンは、餌捕りをする潜水時の開始と終了だけをわざわざ一致させている。その理由は、捕食者から自分達の身を守るためだった。水族館にいるペンギンたちは、生き残りをかけ、様々な工夫をこらさなくても、のんびり生活できる。そのため、野生のペンギンのありのままの行動を調べることのできるバイオロギングは、私達の思考を広げてくれた。

研究者たちはバイオロギングの改良のため数々の失敗と経験を積み重ねている。生物が記録する科学を読んで、私はバイオロギングの事について調べてみることにした。研究者たちの努力のお陰で、今は水中ばかりでなく、陸上や空中で生きる鳥たちのデータも集められる。また、犬や猫の視線でペットとの距離を縮めるための研究開拓も進んでいるようだ。

地球上の生物がもたらす情報は、私達の世界をきっと変えてくれる。私はバイオロギングの可能性を信じて、あきらめずに調査を続ける研究者たちを応援したいと思った。